

『ふるむ・マラウイ』～ムーア・ミッション～

23th /July/2011 第16号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ：チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

デッサ島のマラウイ湖の近くに、マラウイで最初に作られたカソリック教会『ムーア・ミッション』があります。1910年に3人の宣教師により教会が開かれ、今に続いています。その宣教師は、地元民に農業をはじめいろいろなものを伝え、また収入向上を目的に木彫りを教えました。この教会には、マラウイの主要部族であるチワ族、ヤオ族、ンゴニ族の文化を紹介し、多数の文化財を収蔵した博物館が併設されています。その博物館が大変すばらしいのです。『グレワンクール』というチワ族伝統の舞踊（葬式その他の儀式で踊られる）で使われる仮面や衣装が数百点収蔵されており、その造形のおもしろ



教会前の巨大な像



建物には凝った意匠が施されている



建物には多くの壁画



博物館の様子



石けん受けも凝っています

さに時間を忘れて魅入られました(博物館の中は撮影禁止なので残念ながら写真はありません)。グレワンクールとは、森羅万象に精霊が宿るとの考えから、その精霊の姿を具現化したものです。精霊の仮面や衣装は日本の妖怪のようで、詳しい人がご覧になれば日本との共通点を見ることができるかもしれません。精霊信仰(アニミズム)の文化は、日本でも同じように世界各地で原始宗教として存在します。本来キリスト教的文化とは本来隔絶されるものであると思われませんが、仮面や衣装のコレクションは文化的に大変貴重だと思います。

またグレワンクールをモチーフにした、彫刻のギャラリーもあり、販売もされています。その出来映えは、素晴らしくコレクションしたくなるほどです。ムーア・ミッションはマラウイの文化を学ぶのもさることながら、本当に楽しい博物館でした。

